

平成28年度 第2回学校協議会 記録

○日 時 平成28年11月19日(土) 11時～ 応接室にて

○出席者

学校協議会委員

大学院教授、地元中学校長、卒業生・元本校職員、元本校教員、元本校教員
保護者

学校関係者 3名

1 会長あいさつ

2 第1回以降の学校の動向

- ・ 准校長より
放送研究会DVD視聴、学校経営計画の進捗状況
- ・ 首席より
交通安全講習、地域清掃活動、保育園訪問、体育祭、文化祭、
生徒指導部だより
- ・ 教頭より
進路状況、ブラッシング講習会、検診の受検率、前期卒業式、ふるさと堺探検、
授業アンケート結果、修学旅行

3 協議

- ・ 集団になじめず不登校となってしまう生徒がいる。一人ひとりの面倒を見ることが大切。
- ・ 小中学校で不登校になってしまう生徒の中には、先生に対して不信感を抱いている生徒がいる。少しずつ不信感を取り除くために、学校で自尊感情を高める行事等の取組が必要。
- ・ 修学旅行の参加者が少ないのは、中学の修学旅行で沖縄に既に行っているからかもしれない。
- ・ アンケートでは生徒理解の数値が低く、教員が生徒との人間関係を積極的に作っていくことが必要。
- ・ 生徒は自分を見てくれること求めている。社会性が未熟であり、個別にメリハリを付けて指導することが必要。
- ・ バーチャルの世界ではなく、実体験を積むことが大切。
- ・ 中学での不登校生徒に、安易に通信制を選択するのではなく、定時制の良さを広める。
- ・ 放送研究同好会のDVDは地域とのつながりを深めすばらしい。

4 事務連絡 等

- ・ 次回は、1月28日(土) 11:00～

5 閉会